

平成25年度柏市健康増進計画について

地域健康づくり課

1 計画の基本的方向

- (1) 一次予防に重点を置くとともに合併症の発症や症状進展などの重症化予防を重視
- (2) 子どもの頃からの健康づくり、働く世代のこころの健康対策、高齢期における日常生活の自立を目指した身体機能の強化・維持等を推進
- (3) 時間的にゆとりのない者や健康づくりに無関心な者も含め、社会全体として健康を守る環境の整備を重視
- (4) 国民の健康増進を形成する基本的要素となる食生活等の生活習慣の改善とともに、社会環境の改善を通じた働きかけも実施
- (5) 概要版にある基本目標値の設定のほか、重点分野別に健康目標値を設定し、計画の推進・見直し・評価を行なう。

2 新規の目標項目

新たな課題に対応した目標「生活習慣病の発症予防と重症化予防」

- ・閉塞性肺疾患（COPD）の知識の普及
- ・ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度の向上

3 H25年度の推進体制

- (1) 計画の周知徹底
- (2) 各部署で行っている健康増進事業の現状把握・今後の方向性の調査・分析
- (3) 各団体で行っている健康増進の取り組みの現状把握・今後の方向性の調査・分析
- (4) 健康増進事業の方向性の検討および決定
- (5) 平成26年度健康増進事業について検討、決定および予算化
- (6) 次年度の準備
- (7) 計画の中間見直しに向けての進捗管理

4 重点課題（25年度）

- (1) ターゲットステージ：成年期
 - メタボリックシンドローム予防のためのポピュレーションアプローチの実施
 - 家族ぐるみの視点で乳幼児期や学童期・思春期・壮年期・高齢期への波及効果
- (2) 重点活動：身体活動・運動
 - 運動習慣の定着
 - 身体活動に取り組みやすい環境づくり

<既存事業の見直しと再構築>
○ふれあい健康相談： 効果的な実施に向けた体制づくり
○ウォーキングパスポート：効果的な活用方法，周知，配布方法の工夫
○手賀沼ふれあいウォークの充実：関係者との連携によりあらゆる世代が歩くことを楽しむことができる機会の提供(11月開催)
○健康手帳： 活用の促進（市民への周知，内容の充実）
○依頼の健康教育：啓発内容のパッケージ化による内容の確保
○母子保健事業における啓発強化：母子保健事業を利用した子どもと保護者の健康づくり
新しい取り組みの検討
○地域職域連携推進協議会：職域と連携した生活習慣病予防対策（11月松戸保健所と合同開催）
普及啓発（産学官民の健康づくりに関する社会資源・サービスのタイムリーな情報提供）
○HPの充実
○啓発ポスターの作成
○地域健康だよりの発行
○柏市公式ツイッター
○新しい啓発媒体の作成（啓発リーフレット（重点課題別，ライフステージ別）啓発パッケージ，柏市版アクティブガイド，健康づくりマップ，ウォーキングマップ等）
計画の周知
○保健所だより(11月)，広報かしわ(6月1日号)，各団体会議等における計画の周知
<人材育成>
○研修会の開催：職員対象，柏市民健康づくり推進員対象，市民対象
<関係機関との連携>
○庁内関係部署との協議による連携体制の整備
○庁外関係機関・団体との協議による連携体制の整備
<進行管理>
○進行管理シート等を活用した進捗管理